

無収縮モルタル フィルコンR

- ・(一社)公共建築協会 建築材料等評価(「無収縮グラウト」) 評価第001-32009004号(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)」8章2節)合格
- ・東・中・西日本高速道路株式会社「構造物施工管理要領」無収縮モルタル 適合品



各種資料DLページ

フィルコンRの特長

1. 流動性

流動性に優れ、複雑な形状の空隙も隅々まで充填することができます。

2. 優れた強度発現性

1～数日で実用強度を発現する無収縮モルタルです。

材齢1週以降も安定して強度増進し、構造的に十分な高強度が得られます。

3. 優れた無収縮性

ブリーディング・沈下がないため、充填後空隙を残さず、確実な荷重伝達を期待することができます。

4. ラインナップ

砂をプレミックスしたタイプと砂を含まないセメントタイプをご用意しております。

施工方法

前準備

練混ぜ水：酸・油・有機不純物等を含まない清水。
ミキサー：

ハンドミキサー(1100rpm以上)、グラウトミキサー(750rpm以上)等の高速回転型をご使用ください。手練りによる練り混ぜはできませんのでご注意ください。

アルミ製の羽根、容器は決して使用しないでください。

下地処理

- ・下地コンクリートの浮き、脆弱部、レイタンス、油類などを除去します。
- ・鉄筋部分は錆を落とし、必要に応じ防錆材などによる防錆処理^(※1)を行います。
- ・下地コンクリートを十分に水洗いし、湿潤状態に保ちます。水洗いが不可能な場合は下地をエアブロー等で良く清掃し、プライマー処理^(※2)を行ってください。

※1) 当社製品「α防錆ペースト」、「リフレ防錆コートZN」をお勧めします。

※2) 当社製品「リフレトリート」をお勧めします。

施工

練り混ぜ：

練混ぜは右図に従い、十分に練混ぜを行ってください。

注入：

注入条件によって自重圧・ポンプ注入等選択してください。注入は打設箇所全体で計画レベルを確保できるよう連続的に行ってください。また、バイブレーター等による振動締めは基本的には不要です。

仕上げ・養生：

硬化後、グラウト表面が露出する箇所は木ゴテ・金ゴテ等で仕上げを行ってください。施工終了後、モルタル表面が露出する部分は養生マットやシートで覆い、直射日光や風から保護し、常に湿った状態を保つようにしてください。特に高温環境下ではシートで覆い、直射日光を防ぐ必要があります。寒冷環境(外気温が5℃以下)では、シートや灯光器などを使用して保温養生を行ってください。



荷姿は製造の都合等により予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。

プレミックスタイプの配合例

配合	水材料比 (%)	単用量 (kg)		練上り量 (ℓ)
		フィルコンR プレミックスタイプ	水	
袋	18.0 (16.4～19.2)	25(1袋)	4.5 (4.1～4.8)	約13.5
示方		1875(75袋)	338 (308～360)	約1000

注) 水量は気温・材料温度・水温等により若干変動します。使用前に試験練りを行い確認のうえで水量を決定してください。

セメントタイプの配合例

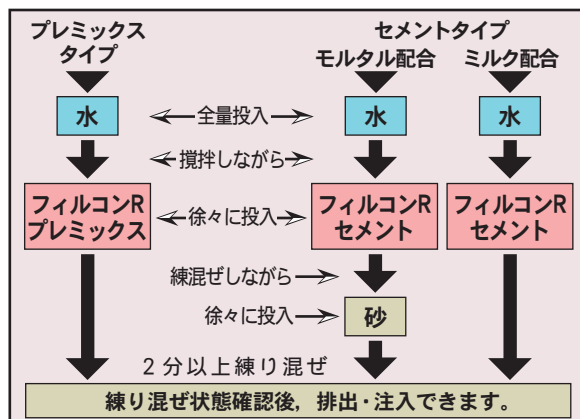
配合	水材料比 (%)	単用量 (kg)			練上り量 (ℓ)
		フィルコンR セメントタイプ	砂	水	
袋	36.0	20(1袋)	0	7.2	約14
示方		1440(72袋)	0	518	約1000
袋	18.0	20(1袋)	20	7.2	約21
示方		938(47袋)	938	338	約1000

※使用目的・気温・材料温度・水温等により水量は変動します。

※モルタル配合では使用する砂の粒度や含水状態、気温等の条件によって水量は変動します。使用前に必要な応じて試験練りを行い、水量・流動性・強度等を確認してください。

※モルタル配合の砂は別途調達してください。

練り混ぜ手順



練り混ぜ状況



フィルコンRプレミックス タイプの性能一例

(東・中・西日本高速道路株式会社 構造物施工管理要領「無収縮モルタル」の品質基準)

1. 流動性

試験：J14ロート
基準値：練り直後において8±2秒
測定値：右グラフを参照ください。→

2. プリーディング

基準値：練り混ぜ2時間後のプリーディング率が0.3%以下

3. 膨張収縮

基準値：材齢7日で収縮を示してはならない。

4. 凝結

基準値：始発1時間以上・終結10時間以内

5. 圧縮強度

基準値：材齢3日 25N/mm²以上
材齢28日 50N/mm²以上
測定値：右グラフを参照ください。→

6. 鉄筋とモルタルの付着強度

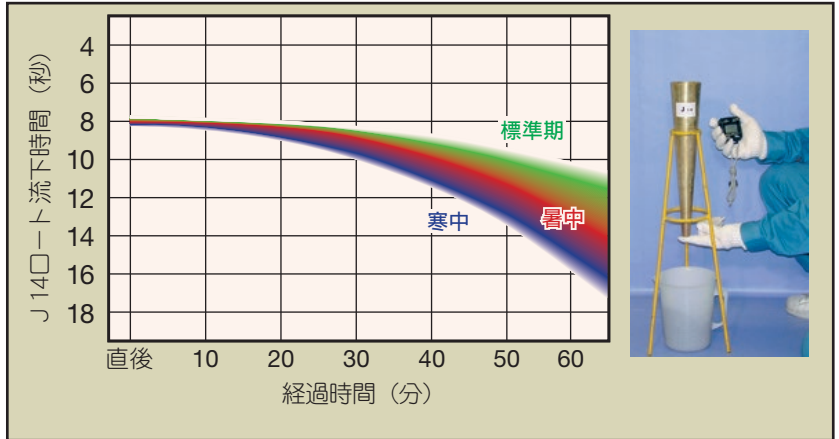
基準値：材齢28日で3N/mm²以上

取り扱い上の注意

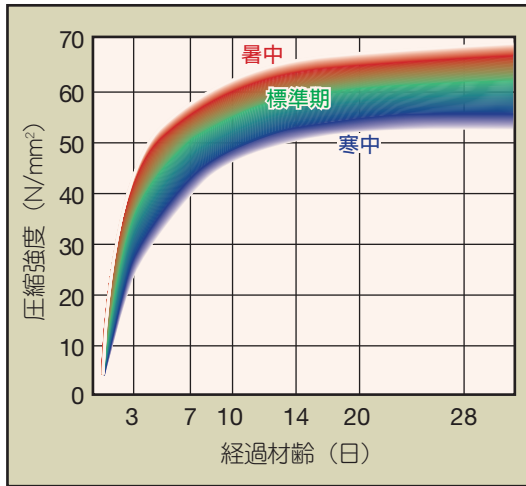
- 不浸透性の保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/防塵マスクを着用してください。
- 粉じん等を吸入しないでください。
- 取扱後は手、顔をよく洗ってください。
- 使用前にSDSを入手し、ご確認ください。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
- 屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。

プレミックスタイプの試験例

流動性の測定例



圧縮強度の測定例



橋梁沓座モルタル

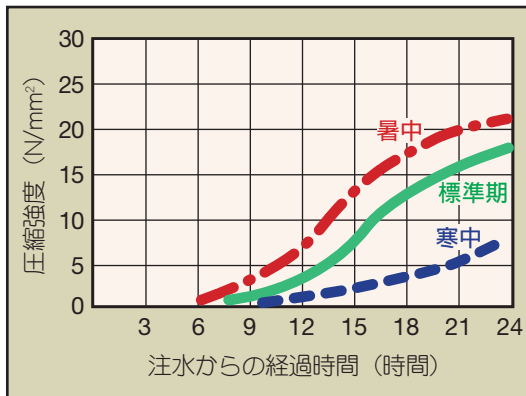


橋脚耐震補強工事



逆打ちモルタル工事

材齢24時間以内の圧縮強度発現



(一社)公共建築協会 評価書

本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

東京 〒105-8641 東京都港区東新橋1-9-2 (汐留住友ビル20F)
大阪 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-4(アクア堂島東館15F)
名古屋 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル3F)
札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-10-2(札幌HSビル10F)
東北支店 〒980-6003 仙台市青葉区中央4-6-1(SS30 3F)
北陸支店 〒920-0849 金沢市堀川新町2-1(井門金沢ビル7F)
四国支店 〒760-0033 高松市丸の内4-4(四国通商ビル6F)
広島支店 〒732-0827 広島市南区稲荷町4-1(広島稲荷町NKビル7F)
福岡支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙与博多ビル8F)

電話 03(6370)2721 Fax 03(6370)2759
電話 06(6342)7704 Fax 06(6342)7708
電話 052(566)3202 Fax 052(566)3273
電話 011(241)3901 Fax 011(221)1017
電話 022(225)5251 Fax 022(266)2516
電話 076(223)1505 Fax 076(223)0193
電話 087(851)6330 Fax 087(822)6870
電話 082(577)7645 Fax 082(577)7646
電話 092(481)0186 Fax 092(471)0530

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は